

柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉 指摘事項に対する回答一覧表
(耐津波設計方針)

No.	会合 実施日	指摘事項	回答状況	回答日	資料No.	頁	回答内容
1	2015/7/9	津波と地震の荷重組み合わせ時における余震荷重設定の考え方について説明すること。	本日回答		資料1-3	5条-別添-添付26	添付資料26において、余震荷重として、弾性設計用地震動Sdを考慮すること、及びその根拠を説明いたします。
2	2016/10/13	液状化の影響範囲と対策の規模、浸水範囲等を示した上で影響がないことを説明すること。また、重大事故対策や大規模損壊対策の評価条件が変わると考えられることから、詳細な根拠を基に影響がないことを説明すること。	一部本日回答		資料1-3 資料1-4	5条-別添-添付2	荒浜側防潮堤についてその評価見直しを示す。また、荒浜側防潮堤を考慮しない場合の浸水範囲について示します。今後、アクセスルート、大規模損壊対策への影響についてそれぞれの審査において説明いたします。
3	2016/10/13	地震・津波の審査においても、液状化の影響を踏まえた津波の遡上解析について、設計上の整理をした上で説明すること。	回答終了	2016/12/9 第420回審査会合 (地震津波)	資料2	P.68-74	地震時の荒浜側防潮堤の損傷や敷地の沈下及び中央土捨場や敷地周辺斜面崩壊を考慮した津波評価を実施し、津波水位への影響が小さいことを説明いたしました。
4	2016/10/27	電気洞道の破線部の説明は別途すること	別途回答				次回の耐津波設計方針(STEP3)の審査にて説明いたします。
5	2016/11/29	沈下量の算定をする各段階の不確実性と、それに対して十分に保守的な配慮をしていることについて説明すること。	本日回答		資料1-3	5条-別添-添付2-2 ~31	添付資料21において、沈下量の算定においては、物性値の設定や沈下率の算定、解析条件、津波評価における沈下量の設定等、各段階で保守的な配慮をしている旨をご説明いたします。また、荒浜側敷地における排水沈下量算定断面を山側に追加致しました。
6	2016/11/29	沈下想定について、遡上解析上は保守的な一様沈下を考慮するとしても、SA対策(特にアクセスルート)の実現性の観点からは、一様沈下よりも詳細な沈下分布を示すこと。	別途回答				保管場所・アクセスルートの審査にて説明いたします。
7	2016/11/29	保管場所及びアクセスルートに対する地震影響の検討(免震重要棟、電気洞道等含む)で評価する沈下量の設定に対する考え方の方向性を整理して説明すること	別途回答				保管場所・アクセスルート及び次回の耐津波設計方針(STEP3)の審査にて説明いたします。
8	2016/11/29	遡上解析に用いる条件としてT.M.S.L.+5mの敷地に限定して沈下量を2.0mとしているが、これを全体的に適用することが遡上解析の上で保守的であることを説明すること。	本日回答		資料1-3	5条-別添-添付2-41~57	添付資料21において、遡上解析では、保守的に設定した沈下量2mに加え、沈下量を1mとしたケースも実施し、津波水位への影響が小さいことを説明いたします。
9	2016/11/29	遡上解析については、解析の全体的な流れが分かるように説明すること。	本日回答		資料1-3	5条-別添-添付2 全体	添付資料21において、遡上解析における地震時の地形変化(防潮堤損傷や敷地の沈下・斜面崩壊)の設定やそれに基づく評価について、流れが分かるように資料を作成いたしました。
10	2016/11/29	遡上解析、耐津波設計等の各検討において基本ベースの位置付けとして防潮堤の有無、沈下の有無をどのように整理しているのかについて説明すること。	本日回答		資料1-3	5条-別添-添付2-56~57	添付資料21において、防潮堤の損傷や敷地の沈下・斜面崩壊による津波水位等への影響を確認し、耐津波設計の各評価における地形の考え方を整理し、説明いたします。
11	2016/11/29	荒浜側が津波により浸水することを想定した場合、1~4号機の原子炉建屋及び制御建屋に加え、廃棄物処理施設やボイラなど、常用系の施設もある。これらが浸水したとしても、今回申請がなされている6、7号のSA対策に影響が出ないことを説明すること。	別途回答				保管場所・アクセスルート及び次回の耐津波設計方針(STEP3)の審査にて説明いたします。
12	2016/11/29	遡上解析の結果を説明する際は、液状化により沈下する施設と沈下しない施設を明確に示した上で説明すること。	本日回答		資料1-3	5条-別添-添付2-41	津波評価において考慮する施設及び地震時の沈下等の扱いを明確に致しました。
13	2017/1/10	津波の浸水範囲にある安全設備の有無、代替措置等の対応について整理して説明すること。	本日回答		資料1-3	5条-別添-添付1-15~24	添付資料11において、津波の浸水範囲にある安全施設を抽出し、津波からの防護可否、防護不可の場合の代替手段を記載しました。